

心のかよう 市政の実現を

この特集は市民編集委員が企画・取材しました。

合併後の第2代新城市長に就任した、下江洋行市長にお話を伺いました。
市民編集委員が下江市長の人柄を探ります。

下江市長のプロフィール

生年月日 昭和40年2月15日
血液型 O型
趣味 スポーツ観戦
(ラグビーなど)
得意料理 焼きそば、うどん、
ラーメンなどの麺類
尊敬する人 松下幸之助

高校時代は勉強よりもラグビー
森田 趣味はスポーツ観戦なんですね。
市長 はい。高校のときに部活でラグビーをしていたので。
木下 それは意外ですね。
市長 3年前のラグビーワールドカップの時は久しぶりに高校時代のラグビー部の仲間と会って、一緒に応援して楽しかったですね。豊田スタジアムにも観に行きましたが、来年はフランス大会があると思うので、今度は観に行けないと思うので、テレビで観戦したいです。
森田 学生時代で悔しかったなと思うことはありますか。
市長 高校の時の部活の思い出かな。3年生の最後の試合で岡崎高校とやって、結構良い試合をした

市長 なるうろつと思ったのは議員活動を通して

平野 まず、市長になるうろつと思ったのはいつ頃ですか？

市長 平成21年から市議を3期12年務め、3期目に入った頃から考えるようになりました。

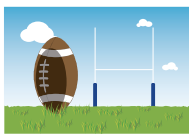
平野 そのときの、ご家族の反応はどうでしたか？

市長 政治家経験のある父親は理解してくれましたが、「自分で決めなさい」と言われました。妻はとても心配していましたが、最終的には理解してくれました。家族には、全力でサポートしてくれたことを感謝しています。

木下 選挙中にご夫婦ラブラブじゃんってところも見られましたよね。マスクを直してあげたりしてましたよね。奥さんのご理解も得て選挙に臨まれたんだなと思いました。

幼少期はおとなしい子どもだった
森田 子どもの頃から政治家になりたかったんですか。
市長 小さな頃は、何も考えていなかったです。企業に勤めて都会暮らしをしたいなと思っていました。大きな夢は持っていませんでした。

んですけど、負けちゃって。初めて高校の部活で泣きました。青春してたなあ。



お袋の味は「鯖の味噌煮」

木下 ご両親ともお忙しい方だったと思いますが、お袋の味はありますか？

市長 鯖の味噌煮ですね。母親の味ではないんですけど、当時まかないを作ってくれたおばさんがいて、その人が作ってくれた食事を私たちも食べていました。鯖の味噌煮を食べると今でもその人のことを思い出します。母親もその鯖の味噌煮が好きで、味付けを教えてくださいました。月に一度くらい作ってくれました。
木下 では、奥さんの手料理で好きなものは何ですか？

市長 どれもおいしいですが、和食より洋食の方が得意で、ロールキャベツをおいしく作ってくれます。毎日作ってもらっている身なので、ぜいたく言っちゃいけません。笑

したね。笑
鈴木 どんな遊びをしましたか？

市長 近所の川で遊んだり、釣りをしたりして遊ぶことが多かったです。姉弟が4人いるので、姉弟げんかも良くしました。

鈴木 げんかをする程、姉弟が良かったんですね。

市長 姉弟4人で生活していた思い出は、私にとって宝物です。8畳くらいの部屋に2段階ベッドと勉強机が2つずつ置いてあって、場所を取り合って生活しました。

平野 お手伝いはしましたか？

市長 両親が旅館を営んでいたのですが、布団の上げ下ろしをしてお小遣いを貰っていました。当時、大野に芸妓さんがいて、お正月は、旅館で働く芸妓さんからお年玉をもらえて嬉しかったです。

木下 私も実家が自営業で家族旅行もしたことがあります。

市長 私の両親も年がら年中仕事をしています。ただ小学生の時に一度だけ家族旅行で伊豆に行きました。その時のことははっきり覚えています。宿泊した宿も覚えていたので、いつか両親をつれてもう一度行きたいです。

木下 ぜひ実現してください。

平野 市長も料理をするんだとか。

市長 学生と社会人の時に一人暮らしをしていたので。焼きそばやうどんなど麺類が好きです。家族に振る舞ったときも一応及第点はもっていました。

動物に例えるなら「馬」

木下 ご自分を動物に例えるのが何だと思えますか？

市長 希望を言う馬ですね。

木下 優しいイメージですね。

市長 目が優しく、癒やされますよね。そんな自分でありたいと思っています。



座右の銘は「和して同ぜす」

森田 座右の銘はいつから意識しているんですか？

市長 ずっとですね。特に働くようになってから、いろいろな現場でいろいろな人にもまれる中で、協調はするけども妥協はしないという考え方は大事だなと思います。



鈴木達也 委員



平野 忠 委員



木下美智子 委員



森田那久 委員



下江洋行 市長

平野 ここからは政策の話を開かせてください。

中山 間地ならではの自然や歴史資源を活用した観光政策

森田 数字的な目標はあります

市長 数字目標としては交流人口の目標を立てたいです。今、新城を含め奥三河にはかなり多くの人を訪れています。ですので、今来ている人たちの維持しながら、その人たちの満足度を高めたいです。

平野 リピーターですね。

市長 そうです。そして宿泊してもらえば5倍6倍のお金を使っただけです。食事もするし、お



若い人たちが「市内に住む」選択ができるように
鈴木 人口減少についてはどのように考えていますか。
市長 今後人口増加を望むのは難しい時代です。数値目標を出すのは難しいのですが、若い世代の人口流出をできるだけ食い止めるための施策に力を入れる必要があります。
鈴木 具体的にはどんなことを考えていますか。
市長 市街化調整区域には家が建てられないということ、息子、娘たちが市外へ出て行ってしまったという

市民と共にふるさと新城を創りたい



市長 市民病院は地域の基幹病院ですから、最も大切な公共施設です。まずは、市民病院の常勤医師を増やし、機能を高めていきたいと考えています。

鈴木 奥三河の人たちにとっても大切な病院ですね。



土産も買出し。宿泊者数を何%増やすという目標を立てます。新東名ができてから宿泊者数は増えています。また、昨年からジェイアールバスの高速バスが道の駅「もつくる新城」へ乗り入れを始めた。今後、交流人口増加は可能だと考えます。

木下 「新城と言えよこれ！」という特産物もあると良いですね。

鈴木 人口減少についてはどのように考えていますか。

市長 今後人口増加を望むのは難しい時代です。数値目標を出すのは難しいのですが、若い世代の人口流出をできるだけ食い止めるための施策に力を入れる必要があります。

鈴木 具体的にはどんなことを考えていますか。

市長 市街化調整区域には家が建てられないということ、息子、娘たちが市外へ出て行ってしまったという

がかりの人も多いと思います。
鈴木 そこが良くなれば市内に住もうと思う若者も増えるかもしれませんね。

中途半端な決断はしない

森田 目指す市長像を教えてください。

市長 市民や職員に寄り添う、皆さんの話に親身に耳を傾ける姿勢を大切にします。

木下 議員の頃は、下江さんを見かけると声を掛けていました。

市長 それが嬉しかったですね。「市長になって声が掛けにくくなったやあ」と言われないように、今までと同じように声を掛けていた方がいいです。



話を、議員の頃からよく耳にしました。若者の定住促進のために、土地活用の選択肢を増やすことも1つの考えです。

医療・福祉の充実

木下 私も子どもがいるのですが、自分の頃と比べると生徒数もクラス数も少なくなっていますよね。

市長 今年度、市内の小学1年生は330人程度で、令和9年度には180人程度にまで減ってしまうそうです。これを回復させるのは並大抵な政策ではできません。

森田 広報ほのかの今月の赤ちゃんも減りましたよね。

市長 市民の皆さんにも分かりやすいように、出生、転入、転出など、新城の人口の変動についてお知らせしていきたいです。

木下 市内で赤ちゃんが産めないのも大変ですね。子育てをしていて、せめて入院できる小児科があれば、安心して子育てをできるなど思いました。

鈴木 どちらかといえばおとなしくて慎重派なイメージでしょうか。

市長 そうですね。しかしこれからは難しい決断をする機会が増えると思います。決めることは決める、安易な決断はしない。なんとなくこうすれば落ち着くであろうという決断なら誰でもできます。しっかりと決断をして、即決即断、信頼されるリーダーでありたいです。

木下 それが信頼にもつながりますよね。中途半端なことを言われるよりも、ずばっと言ってもらえる方が納得できる部分もあると思います。きちんと説明していただければ私たちも納得できます。



〈番外編〉
「新城と言えよこれ！」という特産物は何が良い？」

平野 私は市外出身ですが、新城の水がおいしいですよ。

市長 ありがたいです。

木下 市外の人から「おいしいもの飲ませてあげるよ」と市内ホテルの水道水を出されたことがありました。笑

鈴木 市内には湧き水もたくさんありますよね。

市長 奥三河は東三河全体の水源としての役割も担っているため、「水」は良い着眼点かもしれませんね。



森田 今は鹿が増えているので、ジビエを上手く使うのはどうでしょう。

市長 市内には美味しいジビエ料理を食べられるところもありますよね。



〈インタビューを終えて〉

平野 取材中は若干の緊張感がありました。市長の人柄なのが良い感じが詰まった「新城愛」を感じることができました。忙しい日々が続くかと思いますが、これからも応援していきたいです。

森田 私たちの質問に対し、言葉を選び、具体的に丁寧にお話しされる姿は、市長の人柄を表しているように感じました。理想を失わない現実主義者として一歩一歩、市長の腰を据えた丁寧な取り組みに期待したいと思います。

鈴木 市長とは市議になられる前から親交があり、大変温厚で庶民派の方と感じています。インタビューでは地域のリーダーとして力強い志を聞かせていただきました。今後の活躍を期待しています。

木下 市長にはたくさんの質問をしましたが、全てに対して丁寧に答えていただき、市長の人柄を知ることができました。インタビュー中は、雑談の時は笑顔で、政策の話になると真剣に話をする姿がとても印象的でした。